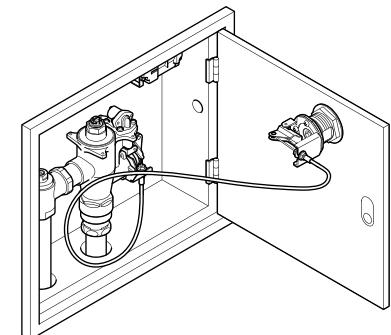
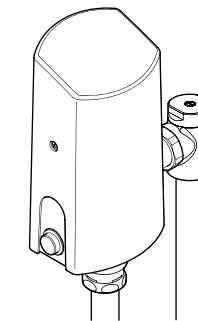


# 施工説明書

大便器自動洗浄システム

## オートフラッシュ C セパレート形

OKC-AT7 型 / OKC-AT78 型  
OKC-AT6 型 / OKC-AT68 型  
OKC-A6 型 / OKC-A68 型  
OKC-A5 型 / OKC-A58 型  
露出形 / 埋込形



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- この商品は、オートフラッシュ C 操作部（別売）と組み合わせて使用します。この施工説明書とオートフラッシュ C 操作部の施工説明書を合わせて、よくお読みのうえ正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書（保証書付）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客さま相談センターまで

ナビダイヤル **TEL 0570-017-173**

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

# 安全上の注意（必ずお守りください。）

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共にお客様まで保管頂くよう依頼してください。

## 用語および記号の説明



### 警告

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



### 注意

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害\*のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。



## 警告



水場使用禁止

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。  
※感電・火災の原因になります。



水かけ禁止

水や洗剤（特にサンポールやドメスト）をかけないでください。  
※感電・火災や外観劣化の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造を行わないでください。  
※故障・感電・火災の原因になります。



ぬれ手禁止



濡れた手でコネクタにさわらないでください。

※感電の原因になります。



禁止

電源配線をはさんだり、キズ付けたりしないでください。  
※故障・感電の原因になります。

交流 100V 以外では使用しないでください。  
※火災の原因になります。

電源線の加工（切断・継ぎ足し）は行わないでください。  
※感電・火災の原因になります。



## 警告



指示実行

万一の際の危険防止のため、電源の一次側に次の漏電遮断器を設置してください。

●高高度高速形（定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下）  
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

電源線を差込形コネクタに差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。

※感電・火災の原因になります。

※この作業の前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。  
※この作業は電気工事になりますので、必ず資格を持った電気工事が行ってください。



## 注意



禁止

強い力や衝撃を与えないでください。

※故障・漏水の原因になります。

凍結の恐れがある場所では使用しないでください。

※凍結破損により故障・事故・漏水の原因になります。

本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。

※洗浄性能への悪影響や漏水の原因になります。



指示実行

自動フラッシュバルブ本体は重いため取扱いには十分注意してください。  
※落とすと、自動フラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して漏水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、ケガをする恐れがあります。

ピストンおよびダイアフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。

※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。  
※この作業の前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。

取り付け接続部に腐食・ひび割れ等のないことを十分確かめた上、取り付けてください。

※故障・漏水の原因になります。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は必ず配管内の空気を抜いてください。

※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家具などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

# 仕様

品名	オートフラッシュ C セパレート形										
	露出形			埋込形							
品番	OKC-AT7 型	OKC-AT6 型	OKC-A6 型	OKC-A5 型	OKC-AT78型	OKC-AT68型					
カバー寸法	130 (幅) × 110 (奥行) × 252 (高さ) mm			448 (幅) × 20 (奥行) × 398 (高さ) mm							
埋込部	—				410 (幅) × 120 (奥行) × 358 (高さ) mm						
洗浄水量 調節範囲	<b>大</b> 5~6L 調節可能 (出荷時 5L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)	10~16L 調節可能 (出荷時 10L)	5~6L 調節可能 (出荷時 5L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)	10~16L 調節可能 (出荷時 10L)					
<b>小</b>	3.8~5L 調節可能 (出荷時 3.8L)	5~6L 調節可能 (出荷時 6L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)	3.8~5L 調節可能 (出荷時 3.8L)	5~6L 調節可能 (出荷時 6L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)					
給水圧力 ※4	最低必要水圧 (流動時) 0.1MPa ※1	0.1MPa ※2	0.07MPa	0.1MPa ※1	0.1MPa ※2	0.07MPa					
最高水圧 (静水圧)	0.75MPa										
電源	AC100V, 50/60Hz										
電磁弁 駆動電圧	DC6V										
各種機能	<b>初期洗浄</b>	入 / 切 切替可能 (出荷時 切)									
	<b>大小洗浄</b>	大小 / 大 切替可能 (出荷時 大小) (人体感知センサーと組合せた時のみ)									
二重洗浄防止	1 度洗浄を行うと、10 秒経過しないと、次の洗浄を行わない										
設備保護洗浄	8 時間毎 / 24 時間毎 / 設備保護洗浄なし (出荷時 24 時間毎)										
給水口径	25A (ねじサイズ R1)										
止水栓 ストレーナー	あり	なし	あり	なし							
使用温度範囲	0 ~ 40°C (ただし凍結の恐れのある場所では使えません)										
使用水	上水 (ただし品番に「-C」がある場合は中水 ※3)										

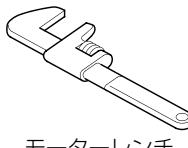
※1： 0.07MPa ~ 0.1MPa 時は 5.5L 又は 6L にて使用

※2： 0.07MPa ~ 0.1MPa 時は 8L にて使用

※3： 中水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。  
ホームページアドレス：[https://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush\\_cs/](https://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush_cs/)

※4： 他のフラッシュバルブを使用の際に止水時と通水時の水圧差が大きい場合、止水状態にあるフラッシュバルブへ水圧変動を及ぼすことで、止水状態にあるフラッシュバルブから、一時的に水が流れることができます。故障ではありませんが、配管設計の際に水圧差が大きくならないようご配慮ください。

# 準備工具



モーターレンチ



精密ドライバー (-)



プラスドライバー



マイナスドライバー

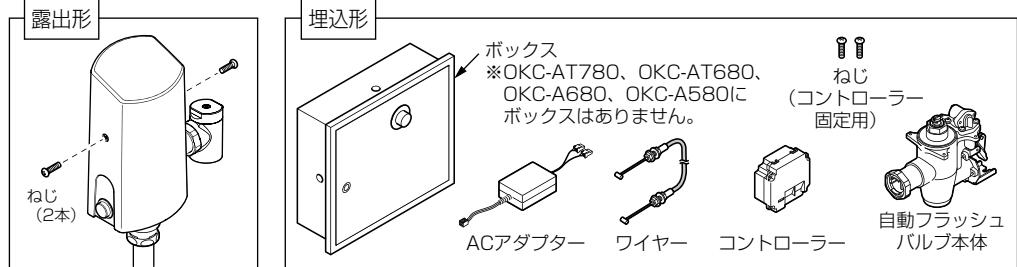
# 取り付け前に

商品をダンボール箱から取り出す際、フラッシュバルブ本体を持ってください。  
※コントローラーや電源コードを持って取り出すと、断線や変形などの故障の原因となります。

## 1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

### 本体部



### 給水・洗浄管部

代表品番	OKC-AT7110/AT781/AT6110/AT610/AT681/A6110/A610/A681/A5110/A581	OKC-AT710K/AT60/AT63/AT610K/A60/A63/A610K/A50/A53/A510K
洗浄管	ツバ付洗浄管	差込み式洗浄管
ワッシャー・パッキン	パッキン（黒）	パッキン（灰） スリップワッシャー（白）

洗浄管：給水管 ※OKC-AT780、OKC-AT680、OKC-A680、OKC-A580 に給水管はありません。

### その他



鍵  
(OKC-AT781、OKC-AT681、OKC-A681、OKC-A581の場合)



取扱説明書



施工説明書



操作説明シール  
(埋込形の場合)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

※本書と取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

# 取り付け前に (つづき)

この商品は、操作部（別売）と組み合わせて使用します。操作部の施工説明書と合わせてご覧ください。

## 2. 取り付け条件の確認

- 自動フラッシュバルブは衛生陶器の種類に応じた製品を選定してください。
- 自動フラッシュバルブと操作部をつなぐ中継ケーブルは必ず操作部に付属の中継ケーブルをご使用ください。
- 操作部の中継ケーブルの切断・延長は行わないでください。故障の原因になります。
- 5m 以上の中継ケーブルが必要な場合は、10m の中継ケーブル（品番:A-10454-10）を別途手配してください
- 現場手配の電線管、電線管コネクタ、スイッチボックス、電源線、プレート、ゴムブッシュは必ず以下のものをご使用ください。

電線管	合成樹脂製可とう電線管 (JIS C8411 呼び 16)
電線管コネクタ	合成樹脂製可とう電線管用付属品 (JIS C8412 呼び 16)
スイッチボックス	JIS C 8340 1 個用スイッチボックスカバー付
電源線	600V ビニール絶縁電線またはケーブル ( $\phi$ 1.6 ~ $\phi$ 2) (単線)
プレート	パナソニック電工(株)製 フルカラーステンレス埋込コンプ (WN 9613) 相当
ゴムブッシュ	タキゲン製造(株)製 難燃性膜付グロメット (SG 34A) 相当

- 水道工事と電気工事は、工程を十分打ち合わせの上で、行ってください。
- AC アダプターは必ず専用のものを使ってください。
- 電源は AC100V (50/60Hz)、最大定格 5W に適した電気配線をしてください。
- 電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が、断線や漏電のないように行ってください。感電や故障の原因となります。
- 給水管内のゴミを洗い流してください。自動フラッシュバルブ本体を取り付ける前に、配管内のゴミ・砂・水垢・配管用接着剤等の異物を完全に洗い流してください。
- 上水仕様は上水道以外に接続しないでください。

※機械内部の腐食により、発火・ショート・感電・故障および皮膚の炎症の原因になります。

※上水以外で使用する場合は、中水仕様をお使いください。詳しくは「仕様」をご参照ください。

●トイレ内のコンセントから電源を取る際には、オプション品の AC100V プラグ付電源コード（品番：A-10471）をご使用ください。

## 3. その他

### ●給排水芯間距離

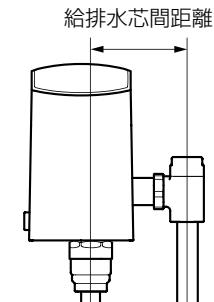
壁給水は 120mm、床給水は 156mm です。

上記以外の芯間距離の場合は、現場に合った芯間変更ユニオンをご購入の上、施工前にお取り換えください。

### ●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

※ 1. オートフラッシュ C 後付けタイプ（電池式）専用芯間変更ユニオンは、オートフラッシュ C (100V 式) には取り付けできませんので、ご注意ください。

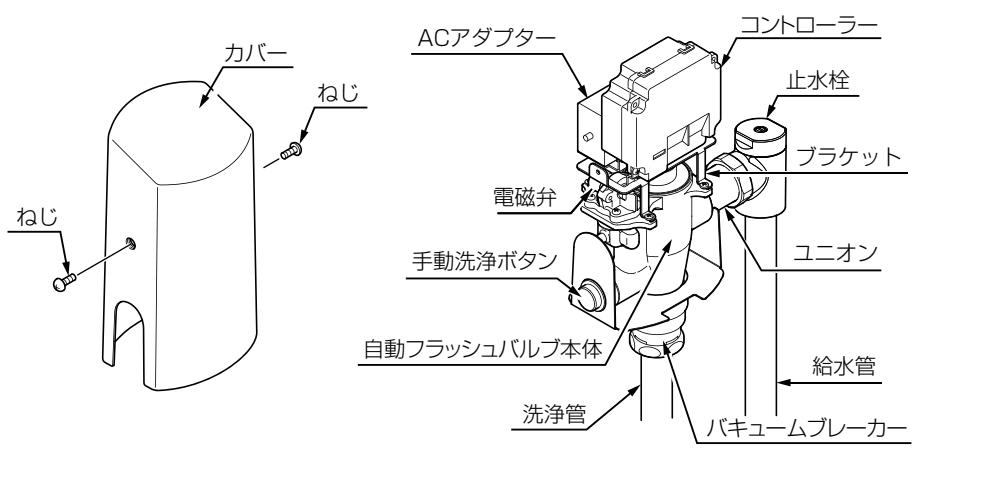
※ 2. 芯間寸法 100mm でシャワートイレを分岐する場合、A-8664(100) と止水栓分岐アダプター (K-016A または K-016A-1) を手配することで対応可能です。



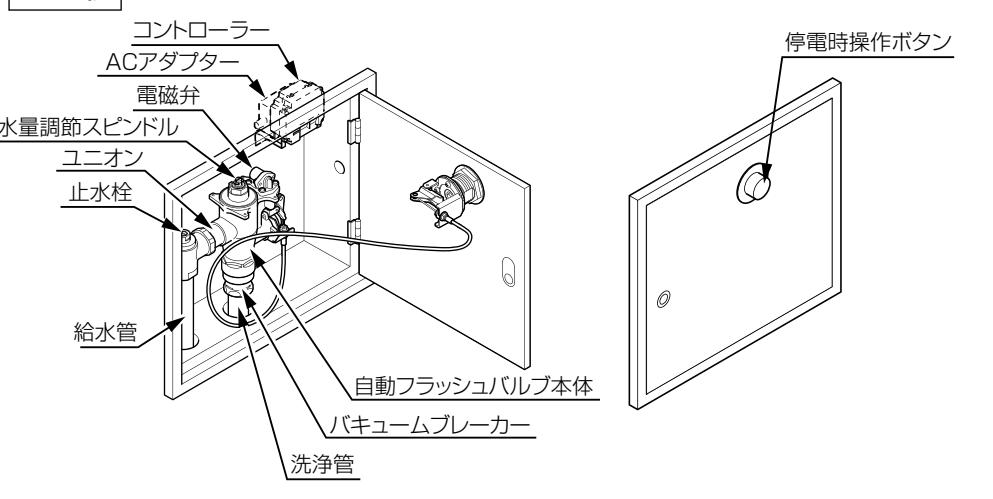
製品品番	OKC-AT7型		OKC-AT6型		OKC-A6型、OKC-A5型	
定流量弁	あり		あり		なし	
シャワートイレ 分岐	なし	あり	なし	あり	なし	あり
水質	上水・中水兼用	上水のみ	上水・中水兼用	上水のみ	上水・中水兼用	上水のみ
芯間距離 (mm)	120	A-9590	K-T001	A-8665	A-8735	A-8664 A-8736
	156	A-9590A	K-T001A	A-8665A	A-8735A	A-8664A A-8736A
	100	—	—	—	—	A-8664(100) —※ 2
	130	A-9590(130)	K-T001(130)	A-8665(130)	A-8735(130)	A-8664(130) A-8736(130)
	140	A-9590(140)	K-T001(140)	A-8665(140)	A-8735(140)	A-8664(140) A-8736(140)
	150	A-9590(150)	K-T001(150)	A-8665(150)	A-8735(150)	A-8664(150) A-8736(150)
	160	A-9590(160)	K-T001(160)	A-8665(160)	A-8735(160)	A-8664(160) A-8736(160)
	170	A-9590(170)	K-T001(170)	A-8665(170)	A-8735(170)	A-8664(170) A-8736(170)
	180	A-9590(180)	K-T001(180)	A-8665(180)	A-8735(180)	A-8664(180) A-8736(180)
	200	A-9590(200)	K-T001(200)	A-8665(200)	A-8735(200)	A-8664(200) A-8736(200)

## 各部のなまえ

露出形



埋込形



## 露出形の施工方法

5 中継ケーブル・電源線の接続

1 スイッチボックスの取り付け

8 水勢の調節・各部の点検

9 カバーの取り付け

3 バキュームブレーカーの取り付け

4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

6 各種設定

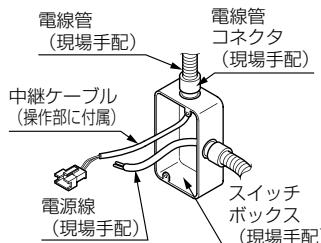
7 電源の投入

2 給水管・洗浄管の取り付け

# 1 スイッチボックスの取り付け

- ① 電線管コネクタ（現場手配、2 個）で電線管（現場手配、2 個）とスイッチボックス（現場手配、1 個）を接続します。

※現場手配部品については「取り付け前に」を参照ください。



- ② 中継ケーブル（操作部に付属）、電源線（現場手配）を電線管に通し、図のようにスイッチボックス内にそれぞれ引き込みます。

### 警告

万一の際の危険防止のため、電源の一次側に漏電遮断器（感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下）を設置し、切っておいてください。

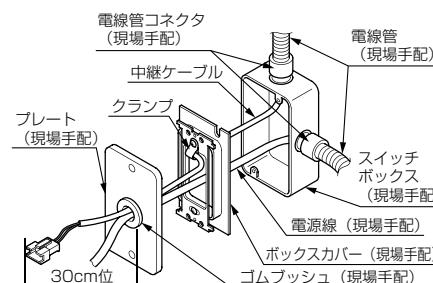
### 注意

中継ケーブル、電源線はプレートからあらかじめ 30cm 位引き出しておいてください。

- ③ 中継ケーブルをクランプに通し、ボックスカバー（現場手配）に取り付けます。

- ④ 中継ケーブル、電源線をゴムブッシュ（現場手配）に通し、プレートを取り付けます。

※ゴムブッシュは中継ケーブル・電源線が通るよう中央を十文字にカットしてください。



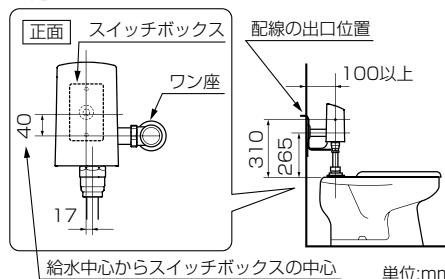
30cm位

## 露出形の施工方法 (つづき)

### 1 スイッチボックスの取り付け (つづき)

#### スイッチボックスの取り付け位置

- 壁から自動フラッシュバルブ本体の中心までの距離が100mm以上（標準セット位置が100mm以上）の場合は自動フラッシュバルブ本体の背面に取り付けてください。



- 壁から自動フラッシュバルブ本体の中心までの距離が100mm未満（標準セット位置が60・75mmタイプ）の場合は壁と自動フラッシュバルブ本体とのすき間が狭く、配線の引き回しやスイッチボックスに配線を収納しにくいため、自動フラッシュバルブ本体の近傍に取り付けてください。

#### 注意

スイッチボックスは配線の露出長さを短くするため、できるだけ自動フラッシュバルブの近くに設けてください。スイッチボックスの取り付け位置は給水管、ワン座などに支障がない場所を選び、また意匠などはあらかじめ現場と調整の上、決めてください。

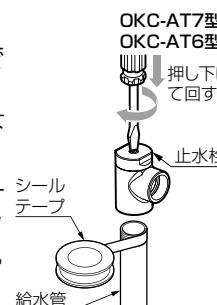
### 2 給水管・洗浄管の取り付け

- 給水管・洗浄管を所定の位置に接続します。

#### 注意

付属の給水管はステンレス管のため、異種金属接触による腐食を防止するため、接続部が給水管と異なる金属の場合は、必ず絶縁継手をご使用ください。

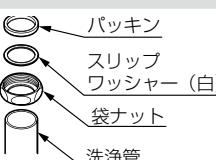
- 給水管に止水栓を取り付けます。
- 止水栓をマイナスドライバーで閉めます。  
※OKC-AT型の場合は押し下げて回すと閉まります。
- 洗浄管にバキュームブレーカーの袋ナット、スリップワッシャー、パッキンを挿入します。



#### ツバ付の洗浄管



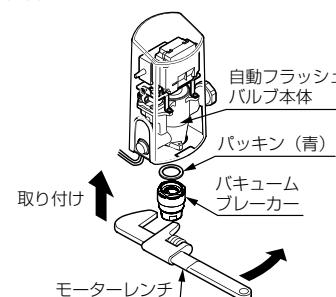
#### 差込み式の洗浄管



### 3 バキュームブレーカーの取り付け

自動フラッシュバルブ本体にパッキンとバキュームブレーカーを取り付けます。

※自動フラッシュバルブ本体を落とさないように注意してください。落とすと破損します。

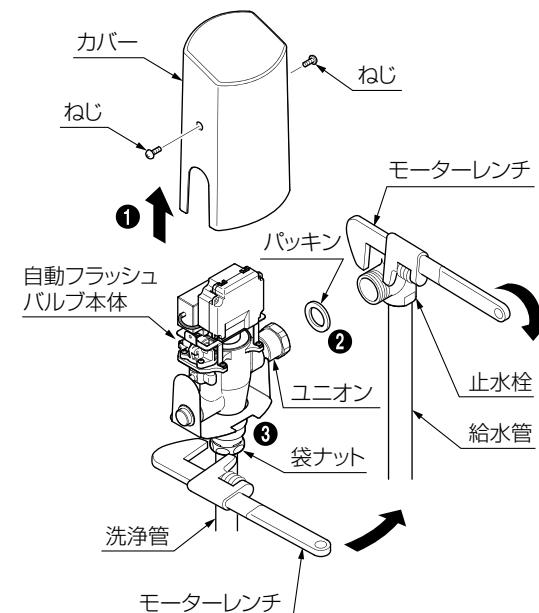


### 4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

- カバー横のねじを外し、カバーを取り外します。  
※外したねじをなくさないように注意してください。

#### 右給水の場合

- 止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。  
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。
- 洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。

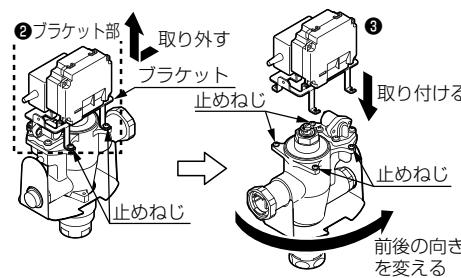


## 露出形の施工方法 (つづき)

### 4 自動フラッシュバルブ本体の取付け (つづき)

#### 左給水の場合

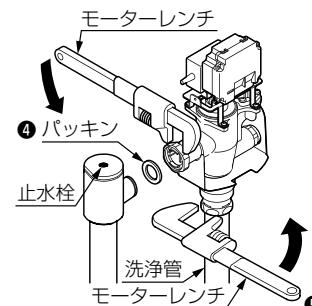
- ❷ ブラケットの止めねじ4本をゆるめ、ブラケットをスライドして外します。
- ❸ 自動フラッシュバルブ本体の向きを変えて、ブラケットをスライドし、仮固定してください。  
※水量調節スピンドル等の設定が不要な場合は、固定してください。



#### 注意

- 配線類のかみ込みやねじれがないように注意してください。
- ブラケット部の取り付けは、ずれがないように奥まで差し込んで止めねじ4本をしめつけてください。

- ❹ 止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。  
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。
- ❺ 洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。



#### 注意

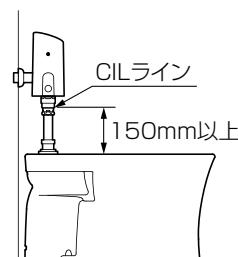
自動フラッシュバルブ本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどで電源コードを引っかけないように十分注意してください。

洗浄管の袋ナットは、手締めで回らなくなるまで仮締めした後、さらに1/2周(180°)締めます。

※締付参考トルク：18N・m

※自動フラッシュバルブ本体の取り付け位置

自動フラッシュバルブは、バキュームブレーカー側面の「CIL」ラインから、便器のあふれ面まで150mm以上を確保してください。

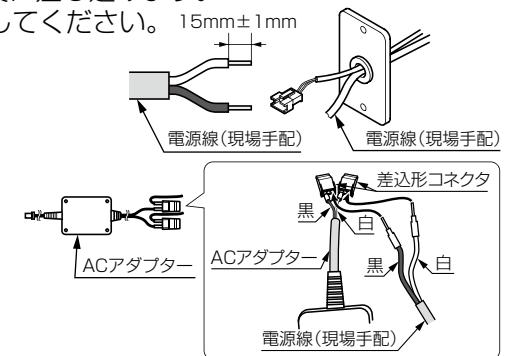


### 5 中継ケーブル・電源線の接続

- ①電源線（現場手配）の被覆を15mm±1mmむき、差込形コネクタの外側端子穴に芯線を奥まで確実に差し込みます。

AC100Vプラグ付電源コードを使用する場合は、差込形コネクタの外側端子穴に、電源コードの芯線を奥まで確実に差し込みます。

※必ず付属の差込形コネクタを使用してください。15mm±1mm



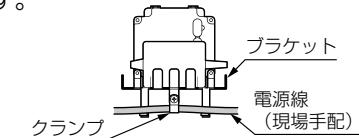
#### 注意

- 元電源が切られていることを確認してから工事してください。
- この作業は電気工事になりますので、必ず資格を持った電気工事が行ってください。



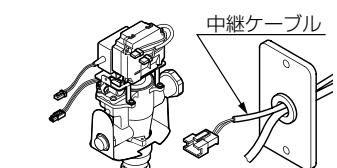
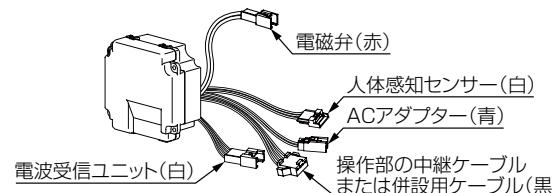
被膜が差込形コネクタに入るまで、奥まで確実に差し込んでください。  
芯線が露出していると、感電する恐れがあります。

- ❶ 電源線をブラケットのクランプに固定します。



- ❷ コネクタを接続します。

コネクタ色	接続相手	接続有無
青	ACアダプター	必ず接続
赤	電磁弁	必ず接続
黒	操作部用中継ケーブル（併設用ケーブル）	有線式操作部と組み合わせ時に接続
白	電波受信ユニット	無線式操作部と組み合わせ時に接続
白	人体感知センサー用中継ケーブル	人体感知センサーと組み合わせ時に接続



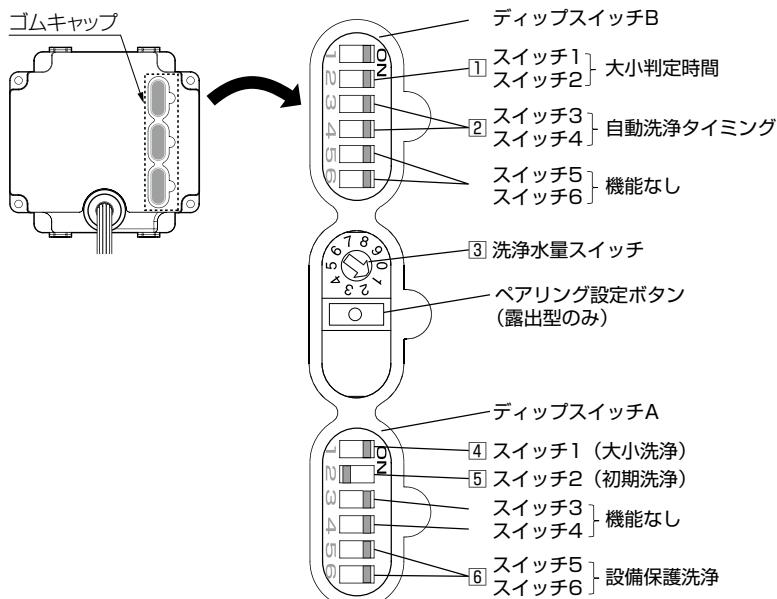
#### 注意

中継ケーブルの切断・延長は行わないでください。故障の原因になります。5m以上の中継ケーブルが必要な場合は、中継ケーブル（10m）を別途手配してください。

# 6 各種設定

## ◆切替スイッチの設定

コントローラー裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。コントローラー裏側のゴムキャップを取り外して、設定してください。(下図はコントローラー裏側です。)各スイッチの切り替えは、精密ドライバー(一)を使用してください。



### ①大小判定時間（ディップスイッチ B）の設定（人体感知センサーと組み合わせた時のみ）

大小判定時間は、出荷時「50秒」に設定しています。スイッチを表のよう切り替えることで、「120秒」、「150秒」に設定することができます。

※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。

### ②自動洗浄タイミング（ディップスイッチ B）の設定

自動洗浄するタイミングは出荷時「10秒」に設定しています。スイッチを表のよう切り替えることで、「1秒」、「180秒」、「自動洗浄なし」に設定することもできます。

大小判定時間	スイッチ番号
50秒	②
120秒	①
150秒	③

※出荷時は  
「50秒」に設定

自動洗浄タイミング	スイッチ番号
10秒	②
180秒	①
自動洗浄なし	③
1秒	④

※出荷時は  
「10秒」に設定

### ③洗浄水量設定

洗浄水量の出荷時設定は製品品番によって異なり、表のように設定しています。取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。※表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

#### OKC-AT7型の場合

洗浄水量	スイッチ番号
大	小
5L	3.8L
5.5L	4.8L
6L	5L

※出荷時は「5L」  
(スイッチ番号1)に設定

#### OKC-AT6、OKC-A6型の場合

洗浄水量	スイッチ番号
大	小
8L	6L
6L	5L

※出荷時は「8L」  
(スイッチ番号3)に設定

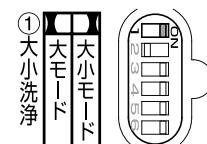
#### OKC-A5型の場合

洗浄水量	スイッチ番号
大	小
13L	13L
10L	8L
8L	6L
13L	8L
16L	16L

※出荷時は「10L」  
(スイッチ番号2)に設定

### ④大小洗浄（ディップスイッチ A）の設定

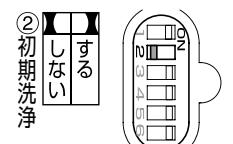
大小洗浄は出荷時「大小モード」(ON)に設定しています。



※出荷時は「大小モード」に設定

### ⑤初期洗浄（ディップスイッチ A）の設定

初期洗浄機能は出荷時「しない」(OFF)に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「する」(ON)に設定することができます。



※出荷時は「しない」  
(OFF)に設定

### ⑥設備保護洗浄（ディップスイッチ A）の設定

設備保護洗浄機能は、出荷時「24時間毎」に設定されていますが、スイッチを切り替えることで、「しない」、「8時間毎」に設定することができます。



※出荷時は  
「24時間毎」に設定

※ディップスイッチ A の 3,4、ディップスイッチ B の 5,6 は「ON」で使用してください。  
「OFF」にすると故障の原因になります。

※設定後、ゴムキャップを付けてください

# 露出形の施工方法 (つづき)

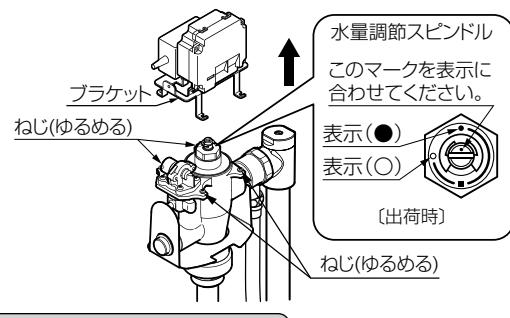
## 6 各種設定 (つづき)

### ◆水量調節スピンドルの設定

- ① 赤色コネクタを外します。 OKC-AT7型 2周目の白丸
- ② ブラケットのねじ (4カ所) をゆるめ、ブラケットを外します。 OKC-AT6型 OKC-A6型 1周目の白丸
- ③ 水量調節スピンドルの丸印 OKC-A5型 1周目の黒丸を表示ラベルの表示に、マイナスドライバーで合わせます。水量ラベルの表示は、衛生陶器によって異なります。

#### 工場出荷状態への戻し方

水量調節スピンドルを反時計回りいっぱいに回した後、製品品番に応じた位置に時計回りに戻してください。



#### 【参考】回転方向について

水量調節スピンドルを左(反時計方向) 増える  
に止まるまで回すと約2L増えます。  
水量調節スピンドルを右(時計回り)  
減る

### ◆洗浄水量の設定

取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。以下に従い、必ず「

- ① 洗浄水量スイッチ」と「② 水量調節スピンドル」と「③ 水勢調節スピンドル」にて設定してください。

#### 衛生陶器品番の確認方法



### ■衛生陶器のタイプと設定方法

型種類	衛生陶器品番	水勢調節	洗浄水量		ディップスイッチA スイッチ1 (大小洗浄) の設定	①洗浄水量スイッチの設定	②自動フラッシュバルブの 水量調節スピンドル位置
			大	小			
OKC-AT7型 ※1	C-P18PA・C-P25S・C-P25H	不要 ※4	5L	3.8L		1 (大5L/小3.8L)	変更なし
	C-P12P		5.5L	4.8L		2 (大5.5L/小4.8L)	
OKC-AT6型 ※2	C-P13S・C-P15SK・C-P15HK・ C-P16P・C-P17P	不要 ※4	6L	5L		9 (大6L/小5L)	変更なし
	S-207		—	—		OFFへ変更	
OKC-A6型 ※3	C-P145S・C-852B・ C-852BM・C-852M・C-854B・	必要	8L	6L		3 (大8L/小6L)	変更なし
	C-P141S・C-P143S		6L	5L		9 (大6L/小5L)	
OKC-A5型	C-P13P	必要	8L	6L		3 (大8L/小6L)	○マークの位置に 合わせる。
	C-5RT・C-5RTSM		8L	6L		3 (大8L/小6L)	
OKC-A5型	C-4R・C-4RSM・C-5KRSR・C-715BM	必要	10L	8L		2 (大10L/小8L)	変更なし
	S-206R		10L	—		OFFへ変更	
	C-35・C-35K		13L	8L		4 (大13L/小8L)	
	その他 ※5		13L	13L		1 (大13L/小13L)	

\* 1 : 流動時静水圧が 0.1 MPa 以上の場合の洗浄水量です。

\* 2 : 流動時静水圧が 0.07 ~ 0.1 MPa の場合は、5.5L (洗浄水量スイッチ 5) に変更してください。

\* 3 : 流動時静水圧が 0.07 ~ 0.1 MPa の場合は、洗浄スイッチを 3 にあわせ、水量調節スピンドルを ■ にあわせてください。

\* 4 : 流動時静水圧が 0.07 ~ 0.1 MPa の場合は、洗浄水量スイッチは 3 のままでください。

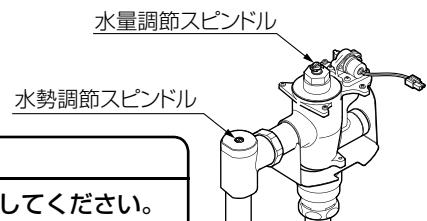
\* 5 : S-203U は流動時静水圧を 0.1 MPa 以上確保できるように配管設計してください。

### ③水勢調節スピンドルの設定

- 出荷時、流動時静水圧が 0.1 MPa で約 5L、約 8L または約 10L になるように設定しております。ただし、お使いの水圧条件によっては水勢と水量が変動するため、水勢の調節をしてください。

#### 注意

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。  
※ 卫生陶器の詰まりの原因となります。

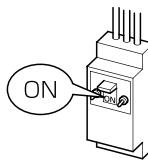


## 露出形の施工方法 (つづき)

### 7 電源の投入

製品の接続・設定が完了したら、電源を入れます。

※初期洗浄機能が「入」になっている場合は、大洗浄が1回行われます。



### 8 水勢の調節・各部の点検

- ① 止水栓が閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。

#### 注意

電源が入っていないと洗浄水が止まらない可能性があります。必ず、電源が入っていることを確認してください。

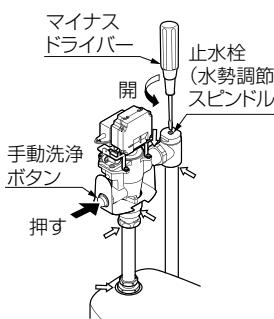
- ② 手動洗浄ボタンを押しながら止水栓を開け、水勢を調節します。(OKC-AT7型、AT6型の場合は、止水栓を全開。)

#### ●水勢の調節

使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な調節をしてください。

右に回転……水勢が弱くなる。

左に回転……水勢が強くなる。



- ③ この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部(下図の矢印→参照)や自動フラッシュバルブ本体に漏水などの異常がないことを止水時と洗浄時にご確認ください。

- ④ 鉢内洗浄の良否は長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個が1回の操作で排出できるかどうかで確認してください。

- ⑤ 各項目の点検をします。

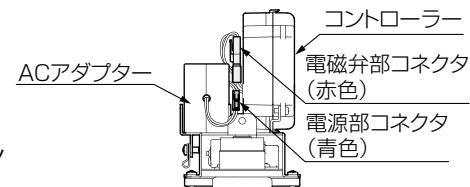
「点検項目」を参照し、点検を行ってください。

### 9 カバーの取り付け

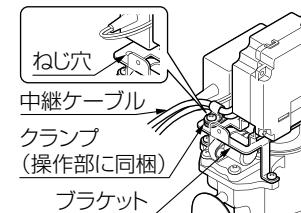
#### 警告

取り付けをあやまると、感電の恐れがあります。

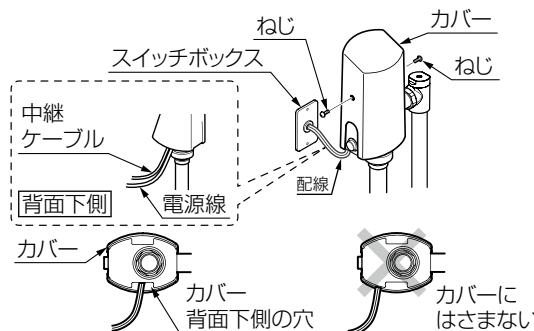
- ① 配線のかみ込みを防止するために、コネクタをACアダプターとコントローラーの間に収めてください。



- ② 中継ケーブルをブラケットに固定します。ブラケットの後方にあるねじ穴に、クランプ(操作部に同梱)で固定してください。



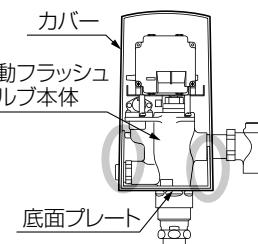
- ③ 配線をかみ込まないように、十分注意しながらカバーをかぶせ、カバーの背面下側の穴から電源線と中継ケーブルを通し、ねじで固定します。余分な配線をスイッチボックス内に収納します。



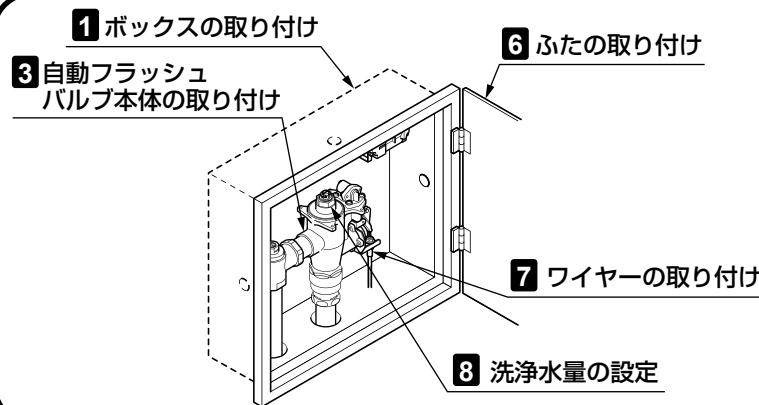
#### 注意

スイッチボックスを横壁など本体から離れた場所に取り付ける場合は、市販のモールなどで配線を覆い、配線を保護してください。

- 底面プレート両側がカバーの内側にあることを確認してください。



# 埋込形の施工方法

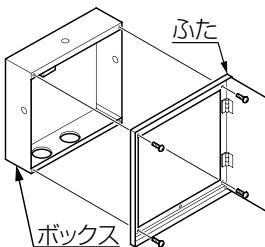


- ② 電線管・電線管コネクタの取り付け
- ④ 下地壁の埋戻し（湿式工法の場合のみ）
- ⑤ 電源線・配線の接続、  
コントローラーの固定
- ⑨ 電源の投入
- ⑩ 水勢の調節・各部の点検
- ⑪ ふたの施錠

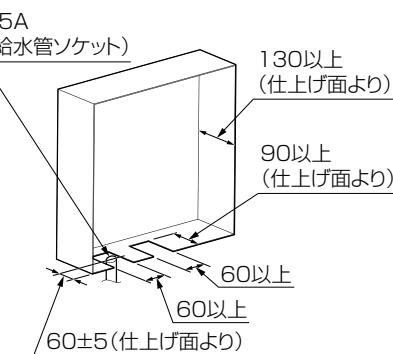
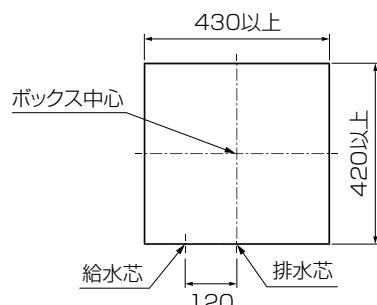
## 1 ボックスの取り付け

### 湿式工法の場合

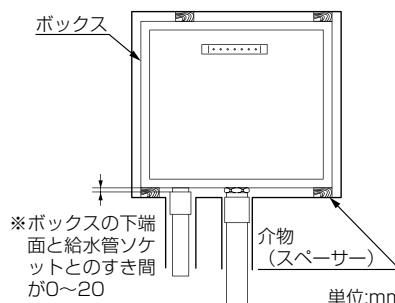
- ① ねじ(4本)を外し、ふたを取り外します。  
※ねじをなくさないよう、ご注意ください。



- ② 下地壁に取り付け位置を示す中心線の墨出しをし、はつり部を決めます。
- ③ 墨出した寸法に合わせて下地壁をはつります。



- ④ はつた壁にボックスを収め、位置を合わせます。ボックスは、壁穴の中心に合わせます。
- ⑤ ボックスを介物（スペーサー）またはモルタルで仮固定します。

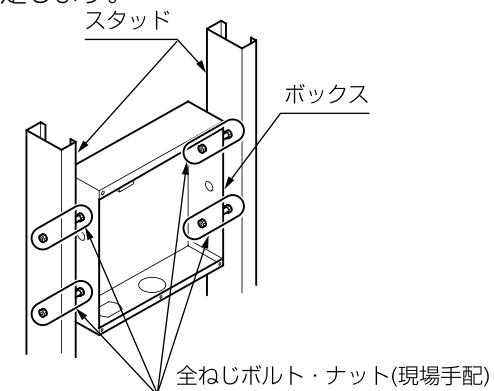


## 1 ボックスの取り付け(つづき)

### 乾式工法の場合

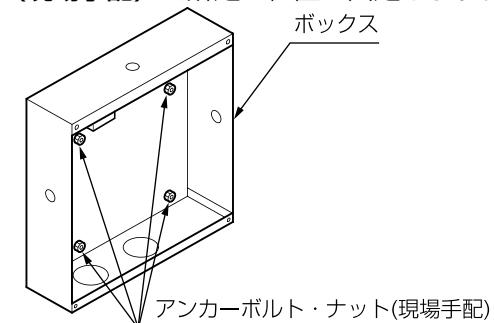
#### ●軽量間柱（スタッド）固定の場合

ボックスの両側面およびスタッドに穴をあけ、全ねじボルト・ナット（現場手配）で所定の位置に固定します。



#### ●背面壁（コンクリート）固定の場合

ボックスの背面に穴をあけ、アンカーボルト・ナット（現場手配）で所定の位置に固定します。

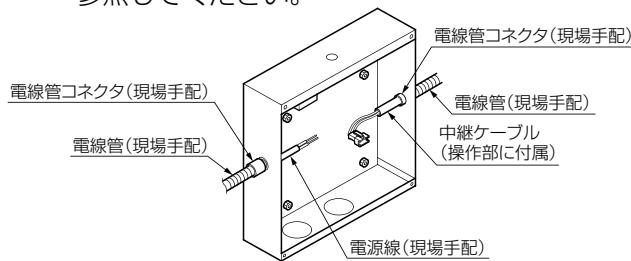


## 埋込形の施工方法 (つづき)

### 2 電線管・電線管コネクタの取り付け

- ① ボックスの穴（上面:1か所、両側面:各1か所）を利用して、中継ケーブル用と電源線用の電線管コネクタ（2個）と電線管（2本）を取り付けます。

- ② 電線管から中継ケーブル（操作部に付属）と電源線（1本）をボックスに引き込みます。  
※現場手配部品については「取り付け前に」を参照してください。



#### 注意

- 中継ケーブルと100V電源線は必ず別々の電線管に通してください。
- 万一の際の危険防止のため、電源の一次側に次の漏電遮断器を設置してください。高感度高速形（定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下）

### 3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

- ① 給水管（25A、現場手配）を所定の寸法で立ち上げ、継手（現場手配）を接続します。

#### 注意

付属の給水管はステンレス管のため、異種金属接触による腐食を防止するため、接続部が給水管と材質が異なる金属の場合は、必ず絶縁継手をご使用ください。

- ② 付属の給水管を継手に接続後、止水栓を接続し止水栓をマイナスドライバーで閉めます。

※OKC-AT型の場合は押し下げて回すと閉まります。

### 3 自動フラッシュバルブ本体の取り付け (つづき)

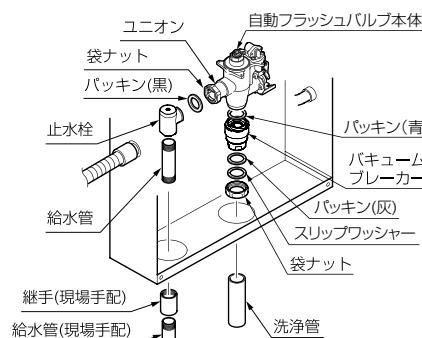
- ③ バキュームブレーカーを自動フラッシュバルブ本体に接続します。

※自動フラッシュバルブ本体を落とさないように注意してください。落とすと破損します。

- ④ 自動フラッシュバルブ本体のユニオンにパッキンを入れ、止水栓に袋ナットで締め付けます。

- ⑤ 洗浄管をバキュームブレーカーに差し込み、袋ナットで締め付けます。

洗浄管の袋ナットは、手締めで回らなくなるまで仮締めした後、さらに1/2周（180°）締めます。  
※締付参考トルク：18N·m

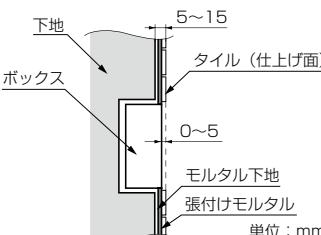


### 4 下地壁の埋戻し (湿式工法の場合のみ)

- ① ボックスの周囲をモルタルで埋め戻します。

- ② 下地壁にモルタルを下塗りし、タイルを張ります。

- ③ ボックス内の水を拭き取ります。



### 5 電源線・配線の接続、コントローラーの固定

- ① 電源線の接続

電源線をクランプに通します。そしてACアダプターからの差込形コネクタと接続し、ACアダプターを基板固定板に乗せます。

ACアダプターと電源線の接続については、露出形の施工方法の⑤「中継ケーブル・電源線の接続」を参照してください。

※クランプの取り付け位置は、電源線の取り回しがよい位置に固定してください。

- ② コントローラーを、ねじで基板個体板に取り付けます。

- ③ コントローラーの配線をコネクタの色に従って接続します。

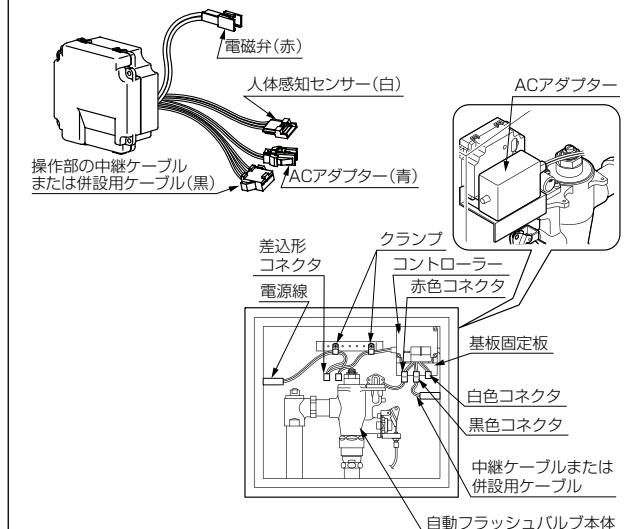
・赤色コネクタ：電磁弁と接続（必ず接続）

・青色コネクタ：ACアダプターと接続（必ず接続）

- ④ 中継ケーブルをコネクタの色に従って接続します。

・黒色コネクタ：操作部の中継ケーブルまたは併設用ケーブルと接続（必ず接続）

・白色コネクタ：人体感知センサーの中継ケーブルと接続（人体感知センサーと組み合わせ時に接続）



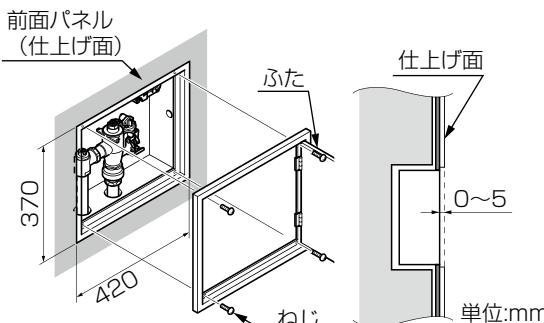
# 埋込形の施工方法 (つづき)

## 6 ふたの取り付け

- ① 湿式工法の場合のみ前面パネルを取り付け、  
370mm × 420mm の開口部を設けます。
- ② ねじ（4本）でふたを前面パネルに固定します。
- ③ ふたと壁面の間を全周白セメントか非酢酸系  
のシール剤でシールします。

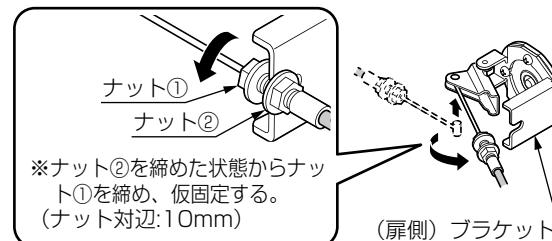
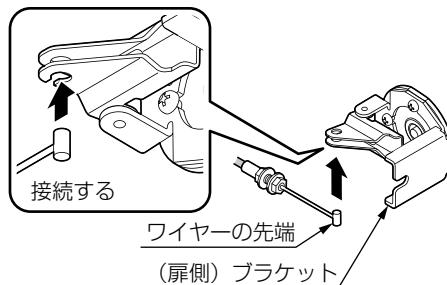
### 注意

酢酸系のシール剤はふたを傷めますので使用しないでください。

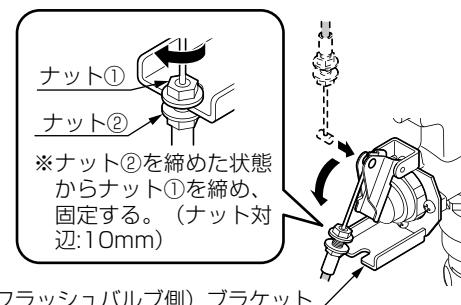


## 7 ワイヤーの取り付け

- ① (ボックスの扉側) ブラケットにワイヤーの先端を接続し、ナット①②で仮固定します。



- ② (フラッシュバルブ側) ブラケットにワイヤーの先端を接続し、ブラケットの切り欠き部にナット①②で固定します。



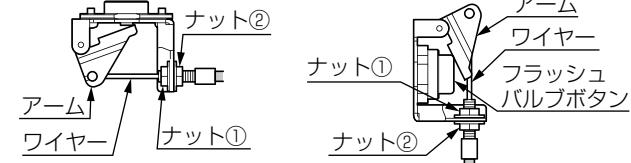
- ③ ワイヤーの張りを調整します。

必ず下記の「●張り調整の仕方」を行ってください。

### ●張り調整の仕方

- (ボックスの扉側) ブラケットのナット①をゆるめておきます。
- (ボックスの扉側) ブラケットのナット②を締め付けていき、フラッシュバルブボタンとアームが接したところで、ナット①を締め付けます。

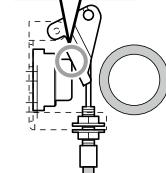
<(ボックスの扉側) ブラケット> <(フラッシュバルブ側) ブラケット>



### 【調整後】

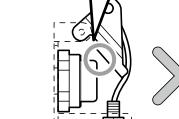
正しく調整された状態

停電時操作ボタンとアームが接している



誤った調整の状態

停電時操作ボタンとアームが接していない



【解決方法】ワイヤーを張る  
停電時操作ボタンを押しても水が流れません。

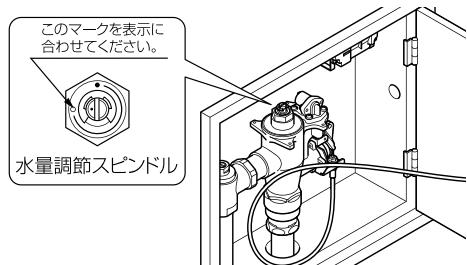
停電時操作ボタンをアームが押している



## 埋込形の施工方法（つづき）

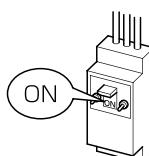
### 8 洗浄水量の設定

洗浄水量を設定します。設定方法は「露出形の施工方法」の「⑥各種設定」を参照してください。



### 9 電源の投入

操作部が接続されていることを確認したら、電源を入れます。  
※初期洗浄機能が「入」になっている場合は、大洗浄が1回行われます。



### 10 水勢の調節・各部の点検

① 止水栓が閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。

#### 注意

電源が入っていないと洗浄水が止まらない可能性があります。必ず、電源が入っていることを確認してください。

② 停電時操作ボタンを押しながら止水栓を開け、水勢を調節します。

### 10 水勢の調節・各部の点検（つづき）

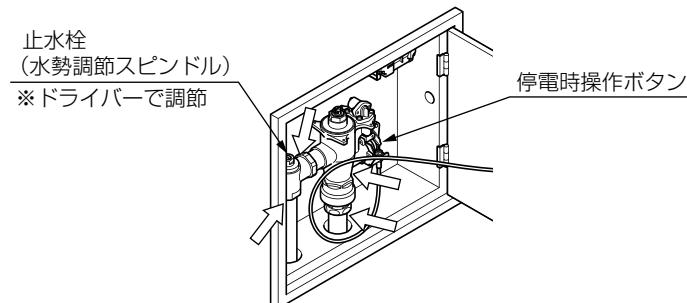
#### ●水勢の調節

使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スパンドルを回転させて適正な調節をしてください。

右に回転 …… 水勢が弱くなる。

左に回転 …… 水勢が強くなる。

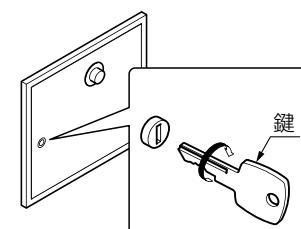
- ③ この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部（下図の矢印 ⇒ 参照）や自動フラッシュバルブ本体に漏水などの異常がないことを止水時と洗浄時にご確認ください。
- ④ 鉢内洗浄の良否は長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個が 1 回の操作で排出できるかどうかで確認してください。



- ⑤ 各項目の点検をします。  
「点検項目」を参照し、点検を行ってください。

### 11 ふたの施錠

ふたを付属の鍵で施錠します。



# 点検項目

取り付けが完了した後、次の項目を確認してください。

## 1 配線の確認

コネクタおよび中継ケーブル・電源線が接続されているか、カバーを取って確認してください。

- 「露出形の施工方法」の「**5** 中継ケーブル・電源線の接続」参照
- 「埋込形の施工方法」の「**5** 電源線・配線の接続、コントローラーの固定」参照

## 2 ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- 自動フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかりと取り付けていますか？

- 「露出形の施工方法」の「**4** 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照
- 「埋込形の施工方法」の「**3** 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

## 3 漏水の確認

漏水がないか確認してください。

- 接続部はしっかりと締め付けていますか？

- 「露出形の施工方法」の「**4** 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照
- 「埋込形の施工方法」の「**3** 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

## 4 洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

- 洗浄水量は正しく設定されていますか？

- 「露出形の施工方法」の「**6** 各種設定」参照
- 「埋込形の施工方法」の「**8** 洗浄水量の設定」参照

- 止水栓は開いていますか？

- 「露出形の施工方法」の「**9** 水勢の調節・各部の点検」参照
- 「埋込形の施工方法」の「**10** 水勢の調節・各部の点検」参照

- 給水圧力は適正ですか？

- 最低水圧が組み合わせる衛生陶器の仕様水圧を満たしているか、最高水圧 0.75MPa（静水圧）以下であることをご確認ください。

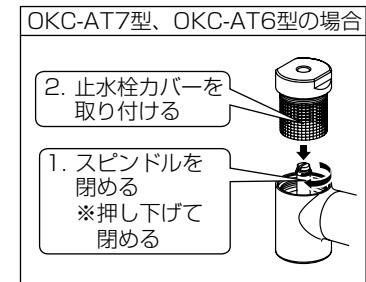
## 5 器具内の清掃

配管内のゴミが器具につまっているか確認してください。

- (OKC-AT7型、OKC-AT6型の場合) 止水栓ストレーナーにゴミつまりはないですか？
- 止水栓ストレーナーを掃除します。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。

### 注意

- OKC-A5型、OKC-A6型(OKC-AT7型、OKC-AT6型以外の機種)にはストレーナーではなく、止水栓カバーを取り外すと漏水するため止水栓カバーを外さないでください。
- OKC-AT7型、OKC-AT6型でストレーナー付止水栓カバーを取り外す際は、必ず製品の止水栓を先に閉めてください。



※止水栓を閉めずに止水栓カバーを取り外した場合、スピンドルが自立しないため止水栓カバーの取り付けが困難となります。  
→スピンドルを閉めてから止水栓カバーを取り付けてください。

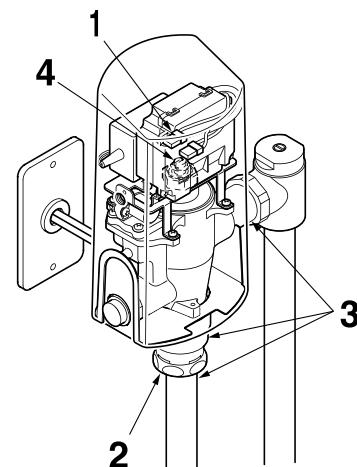
- ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体シート部のゴミ付着はないですか？

→ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体のシート部の掃除をします。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。

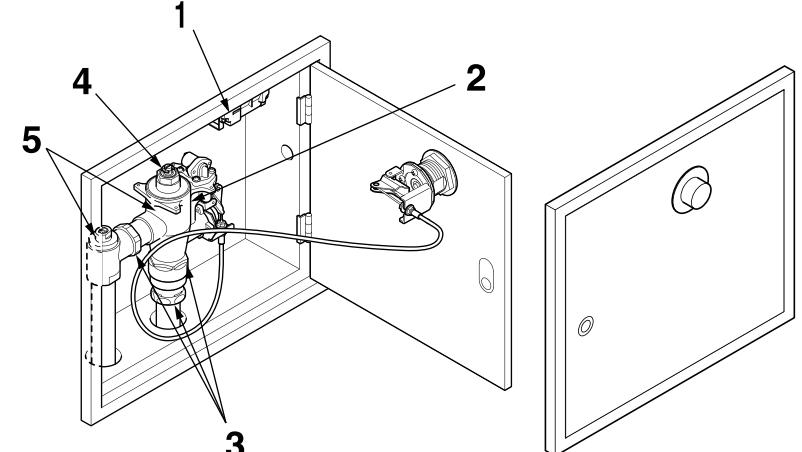
- ダイアフラムにゴミつまりはないですか？

→ダイアフラムを掃除します。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。

### <露出形>



### <埋込形>



# 取り付け完了後の確認

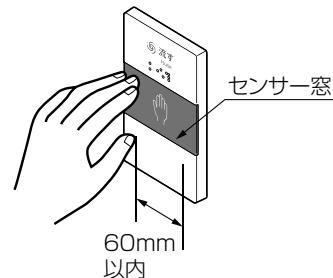
## 操作部で洗浄する場合

※確認は操作部の施工説明書と合わせて行ってください。

### <センサースイッチで洗浄する場合>

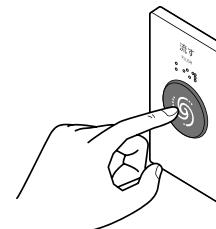
センサー窓から 60mm 以内に 2 秒以上手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。

ただし、1 度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後 10 秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



### <タッチスイッチで洗浄する場合>

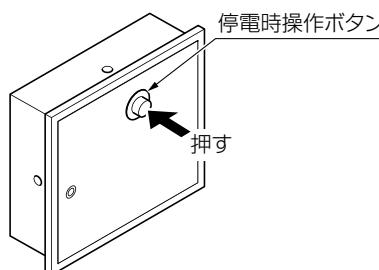
【流す】ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1 度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後 10 秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



## 停電時操作ボタンで洗浄する場合

止水栓を開け、ボタンを押し込んで流れることを確認してください。

水が流れない場合は、「●張り調整の仕方」の手順を繰り返して、ワイヤーの張りを調整してください。



## 人体感知センサーがつく場合

センサーが使用者を感知すると感知表示ランプ(赤)が点灯します。6秒以上点灯させた後立ち去ると、感知表示ランプ(赤)が消灯します。

感知表示ランプ(赤)  
が消灯しない場合



トイレブースの壁や衛生陶器を感じていますので、感知距離の再設定が必要となります。設定方法は人体感知センサーの施工説明書を参照してください。ドアを開けたままでセンサーの感知表示ランプ(赤)が点灯する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。それでも感知表示ランプ(赤)が点灯している場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄タイミングを「自動洗浄なし」に設定してください。設定方法は操作部の施工説明書を参照してください。

